

お知らせ

令和8年8月4日

学 校 名	岡山県立津山商業高等学校
担 当 者	教諭 岡本 恭典（地域連携担当） 講師 水島 雄一（地域連携担当） 指導教諭 吉澤 智美（広報担当）
電話番号	0868-22-2421

笑って共感。そこから見えてくる、津山の未来。

津山商業高校の3年生有志9名が、市民から寄せられた「津山あるある」を紹介する参加型展示会を開催します。思わず笑ってしまう日常の一コマから、普段は見過ごしている津山の魅力や課題まで、市民の「わかる!」を集めました。笑いと共感をきっかけに、高校生と市民と一緒に津山のまちを見つめ直します。

記

1 日 時 令和8年8月22日(土) 11:00~18:00・23日(日) 10:00~17:00

2 場 所 アルネ・津山 4階 津山市立文化展示ホール（津山市新魚町17）

3 企画・運営 岡山県立津山商業高等学校 3年生有志9名

関係機関 事業担当 岡山県生涯学習センター イベント担当 津山市生涯学習課

4 内容・狙い

本事業は、岡山県生涯学習センターが実施する「高校生×地域」事業の一環として、高校生が主体となり、大人や地域の人々と関わりながら地域を元気にする社会教育の取り組みです。津山市民だからこそ共感できる「あるある」を集め、笑いや共感を入口として、地域の魅力や課題を見つめ直します。

5 見どころ

① 市民の「あるある」を高校生が展示作品に

市民から寄せられた津山ならではの日常やローカルルールを、高校生が展示作品として紹介します。思わず「わかる!」と笑ってしまう、津山市民必見の展示です。

② 来場者が参加できる「共感投票」

来場者が、最も共感した「津山あるある」に投票できるコーナーを設けます。展示を見るだけでなく、来場者自身も参加しながら楽しむことができます。世代を超えて笑顔や会話が生まれる展示会を目指します。

③ 高校生による地域探究の集大成

生徒たちは3月から、県職員などの助言を受けながら、企画、ネタの募集、広報、展示制作に主体的に取り組んできました。

展示会終了後は、集まった市民の声を分析し、新たに発見した地域の魅力や課題を、今後の地域づくりや課題解決に向けた活動につなげる予定です。

6 その他

各地で開催され、SNSでも注目を集めている「共感型展示」をヒントに、高校生が津山版として企画しました。「あるある」を楽しむだけでなく、笑いや共感の中から地域の魅力や埋もれている課題を発見する、高校生主体の地域探究プロジェクトです。

